

第2章 グリーン経営の進め方

■ はじめてグリーン経営に取り組む場合

グリーン経営にはじめて取り組む場合は、まず対象とする組織（事業所）の環境保全活動がどの程度実施できているかを知る必要があります。

このマニュアルでは、中小規模の倉庫事業者及び港湾運送事業者の実態に合い、かつ、容易に環境保全活動が行えるよう、環境保全への具体的な取組を「グリーン経営推進チェックリスト」（以下、チェックリスト）で把握・評価し、それをもとにグリーン経営を進めることができるような仕組みを示しています。

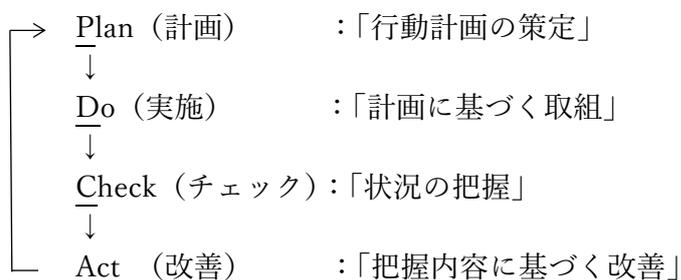
チェックリストには、倉庫事業者及び港湾運送事業者が目指すべき環境保全活動への取組が示されています。これをもとに自社の環境保全活動への取組状況をチェックすることによって、まず、現状での取組内容の整理と取組レベルの把握が可能になります。また、自社の取組以外にどのような取組があるのか、より高いレベルの取組としてどのような取組があるのかを知ることができます。

チェックリストにより実施の程度の確認ができましたら、不足していると判断した活動を追加する「改善」を行い、その改善が実現できているかを再びチェックします。

この初期の段階に「チェック：Check」と「改善：Act」の活動を繰り返すことを「グリーン経営の仕組みの構築」と言います。そして不足がないことが確認できましたら、いよいよ本格的にPDCAのサイクルによる継続的な活動を開始します。

■ 準備ができたか、すでにグリーン経営に取り組んでいる場合

グリーン経営を進めるためには、以下のPDCAのサイクルを活用して様々な環境保全活動の継続的な向上を目指す必要があります。



次に示す「グリーン経営の推進の流れ」は、構築から取り組む場合と、すでに仕組みが完成されている場合の進め方をPDCAを使って表しています。計画、実施、チェック、改善のサイクルを適切に活用して、グリーン経営を進めましょう。

グリーン経営の推進の流れ

はじめて取り組む場合

C 環境保全活動への取組状況を把握します
・チェックリストを利用して何が不足しているか明確にしましょう

A 取組の改善策を検討します
・不足していると判断した活動を追加し改善しましょう

準備ができたなら

P 行動計画を策定します
・目標やこれから取り組む内容を計画しましょう

D 計画に基づき取り組みます
・それぞれが役割を担い計画を推進しましょう

C 取組結果をチェックします
・チェックリスト・集計結果等により実施した内容が計画通りか確認しましょう

A チェックに基づき改善します
・確認した内容を考慮して見直し・改善をしましょう

Plan **D**o **C**heck **A**ct のサイクル
計画 実施 チェック 改善